

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 16 年 12 月 16 日 (2004.12.16)

【公開番号】特開 2001-147814(P2001-147814A)
【公開日】平成 13 年 5 月 29 日 (2001.5.29)
【出願番号】特願 平 11-328465
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 9/445

G 0 6 F 9/06

G 0 6 F 13/00

【F I】

G 0 6 F 9/06 4 2 0 S

G 0 6 F 9/06 5 4 0 M

G 0 6 F 13/00 3 5 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の起動処理及び第 2 の起動処理を記憶する記憶手段を備え、前記第 1 の起動処理及び前記第 2 の起動処理をその順序で順次実行し、前記第 2 の起動処理により、前記第 2 の起動処理を更新する更新処理を含むメイン処理を読み込んで実行する装置であって、前記第 2 の起動処理が更新中であるか否かを示す状態情報を、前記第 2 の起動処理の更新開始時及び更新完了時にそれぞれ異なる状態となるように設定し、前記第 1 の起動処理は、前記状態情報の状態に応じて、前記メイン処理を実行するようになっていることを特徴とする起動処理更新装置。

【請求項 2】

第 1 の起動処理及び第 2 の起動処理を記憶する第 1 の記憶手段と、第 2 の記憶手段とを備え、前記第 2 の起動処理を更新する更新処理を含むメイン処理を記憶するネットワーク端末と通信可能に接続し、前記第 1 の起動処理を実行し、前記第 1 の起動処理により、前記第 2 の起動処理を前記第 1 の記憶手段から前記第 2 の記憶手段に転送して実行し、前記第 2 の起動処理により、前記メイン処理を前記ネットワーク端末から読み込んで前記第 1 の記憶手段に格納し、前記メイン処理を前記第 1 の記憶手段から前記第 2 の記憶手段に転送して実行する装置であって、前記第 2 の起動処理の更新を開始するときは、前記第 2 の起動処理が更新中であるか否かを示す状態情報を、更新中であることを示す状態に設定し、前記第 2 の起動処理の更新を完了したときは、前記状態情報を、更新中ではないことを示す状態に設定し、前記第 1 の起動処理は、前記状態情報が更新中であることを示しているときは、前記第 2 の起動処理を実行せず、前記メイン処理を前記第 1 の記憶手段から前記第 2 の記憶手段に転送して実行するようになっていることを特徴とする起動処理更新装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記第 1 の記憶手段は、データ書換可能な不揮発性のフラッシュメモリからなり、前記状態情報を前記第 1 の記憶手段に記憶するようになっていることを特徴とする起動処理更新

装置。